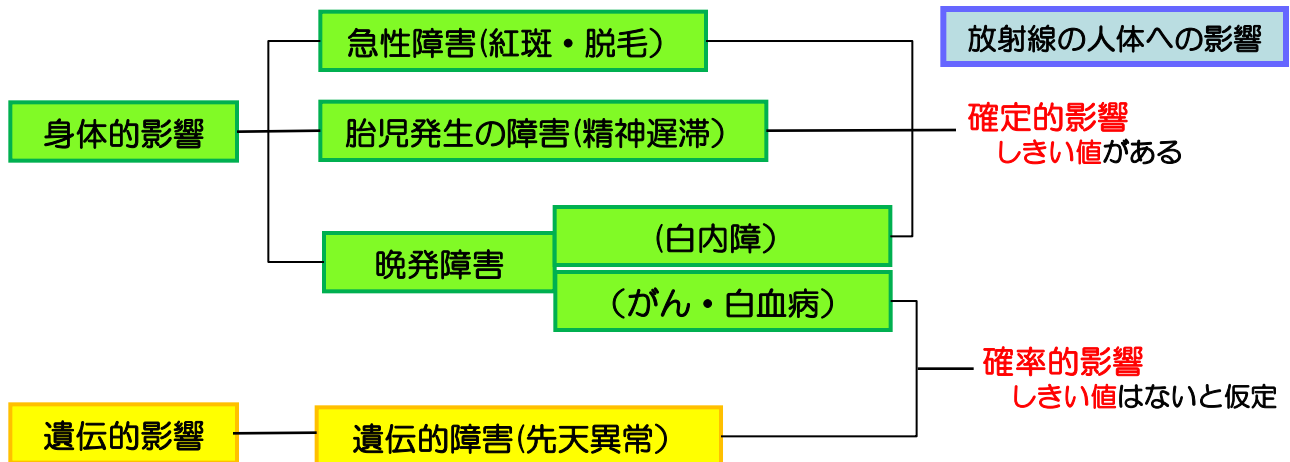


今回は放射線についてのお話です。少しとっつきにくいかもしれませんが、豆知識を増やしていきましょう。



放射線の影響(確率的影響と確定的影響)



「原子力・エネルギー」図面集2009

確定的影響とは

放射線による影響の重篤度が線量と共に増大する影響のことで、脱毛を含む皮膚の障害や骨髄障害あるいは白内障などが含まれます。

* 確定的影響による障害の発生には“しきい値”があり、ある一定の線量を受けなければ障害は発生しません。通常の検査でしきい値を超えることはありません。

確率的影響とは

放射線による影響の起こる確率が線量の関数であるもので、発がんや遺伝的影響が含まれます。

遺伝的影響とは

生殖細胞に起こった突然変異が関係して、被ばくした人の子孫(次世代以降)に現れる影響のことです。しかし、疫学的調査からは、放射線による遺伝的影響の発生が統計的に有意に増加することは確認されていません。

確定的影響を防止し、確率的影響を減少させるため、使用する放射線の線量をできる限り低く保ち、放射線画像の質を落とさないことも診療放射線技師の役割のひとつです。